

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

| | | | |
|----|----|----|---------|
| 分野 | 音楽 | 種目 | オーケストラ等 |
|----|----|----|---------|

申請区分(申請する区分を選択してください。)

| | |
|------|-------|
| 申請区分 | A区分のみ |
|------|-------|

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

| | | | |
|---------|---|--------|-----|
| 複数申請の有無 | 無 | 申請総企画数 | 1企画 |
|---------|---|--------|-----|

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

| | |
|--------------------|--|
| 複数の企画が採択された場合の実施体制 | |
|--------------------|--|

芸術文化団体の概要

| | | | | |
|-------------------|---|----------|---|---------------------------|
| ふりがな | こうえきざいだんほうじんとうきょうこうきょうがくだん | | | 団体ウェブサイトURL |
| 制作団体名 | 公益財団法人東京交響楽団 | | | https://tokyosymphony.jp/ |
| 代表者職・氏名 | 理事長 岡崎 哲也 | | | |
| 制作団体所在地 | 〒 | 169-0073 | 最寄り駅(バス停) | 大久保 |
| | 東京都新宿区百人町2-23-5 | | | |
| 電話番号 | 03-3362-6764 | | | |
| ふりがな | とうきょうこうきょうがくだん | | | 団体ウェブサイトURL |
| 公演団体名 | 東京交響楽団 | | | https://tokyosymphony.jp/ |
| 代表者職・氏名 | 理事長 岡崎 哲也 | | | |
| 公演団体所在地 | 〒 | 169-0073 | 最寄り駅(バス停) | 大久保 |
| | 東京都新宿区百人町2-23-5 | | | |
| 制作団体 設立年月 | 1946年4月 | | | |
| 制作団体組織 | 役職員 | | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | 会長:澤田 秀雄、理事長:岡崎 哲也 副理事長:平澤 創、依田 巽、 常務理事:辻 敏、理事12名、 評議員長・最高顧問:金山 茂人、 評議員7名、監事2名、 特別顧問3名 | | 楽員:82名 ステージマネージャー:2名 ライブラリアン:2名 事務局:15名 加入条件: 楽員/公募によるオーディション 事務局員/公募による試験、面接 | |
| 事務体制 (専任担当の有無) | 他の事業と兼任の事務担 当者を置く | | 本事業担当者名 | 長久保宏太郎 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | 有 | | 経理責任者名 | 尾木 貴雄 |

| | | | | | |
|------------------------|--|--|-----|--|-----|
| <p>制作団体沿革</p> | <p>1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称。2011年「公益財団法人」格取得。</p> <p>現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。サントリーホール、ミューザ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市、新潟市などの行政と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開、教育プログラム「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」も注目されている。</p> <p>また、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。海外公演もウィーン楽友協会をはじめ58都市78公演を行う。さらに「VRオーケストラ」や電子チケットの導入、日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サービス『TSO MUSIC&VIDEO SUBSCRIPTION』をスタートしたほか、2020年3月にニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴し注目を集めるなど、ITへの取組みも音楽界をリードしている。</p> <p>音楽監督にジョナサン・ノット、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、正指揮者に原田慶太楼、名誉客演指揮者に大友直人を擁する。</p> | | | | |
| <p>学校等における公演実績</p> | <p>平成24年度16公演、平成25年度28公演、平成26年度19公演、平成27年度27公演、平成28年度34公演、平成29年度30公演、平成30年度30公演、平成31年度22公演 令和2年度8公演 令和3年度16公演</p> | | | | |
| <p>特別支援学校等における公演実績</p> | <p>オーケストラ公演 平成27年度 1公演、平成28年度 1公演、平成29年度 2公演、平成30年度 3公演、平成31年度(令和元年度) 2公演。</p> <p>アンサンブル公演 令和3年度 2公演</p> | | | | |
| <p>参考資料の有無</p> | <p>申請する演目のWEB公開資料</p> | <p>有</p> | | | |
| | <p>※公開資料有の場合URL</p> | <p>https://www.kodomogeijutsu.go.jp/video/musics/c23.html</p> | | | |
| | <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p> | <table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table> | ID: | | PW: |
| ID: | | | | | |
| PW: | | | | | |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京交響楽団 】

| | | | |
|-------------------------------|--|----------------|--|
| 対象 | 小学生(低学年) | ○ | |
| | 小学生(中学年) | ○ | |
| | 小学生(高学年) | ○ | |
| | 中学生 | ○ | |
| 企画名 | オーケストラ・ワンダーランド ～東京交響楽団演奏会～ | | |
| 本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付 | <p><第1部> ロッシーニ: 歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」 小室昌広(編曲): 「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」(ナレーション付き) 協奏曲(モンティ: チャールダーシュ、モーツァルト: ファゴット協奏曲など) ※協奏曲のソリストにはできるだけ地元ゆかりのあるメンバーを起用 ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」から第1楽章 (休憩15分) <第2部> アンダーソン: トランペット吹きの休日 ★黛敏郎: スポーツ行進曲 ★【指揮者体験】ビゼー: 歌劇『カルメン』より前奏曲 ★【みんなで歌おう】杉本竜一: ピリブ または 訪問校校歌 外山雄三: 管弦楽のためのラブソディ 【アンコール】久石譲: 『天空の城ラピュタ』より「君をのせて」 ※★の曲目は、訪問校の希望に沿って調整し、ピリブ、訪問校校歌(オーケストラ編曲版)での全校児童・生徒との共演、または訪問校の吹奏楽部・器楽部などとの共演をいたします。</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p> | | |
| 著作権、上演権利等の許諾状況 | 各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否 | 該当あり | 該当コンテンツ名 小室編曲: ディズニーのメロディによる管弦楽入門、 アンダーソン: トランペット吹きの休日、 黛敏郎: スポーツ行進曲、 杉本竜一: ピリブ 外山雄三: 管弦楽のためのラブソディ、 久石譲: 君をのせて |
| | 該当事項がある場合 | 権利者名 日本音楽著作権協会 | 許諾確認状況 採択後手続き予定 |
| 演目概要 | <p>第1部は、『ウィリアム・テル』序曲の華やかなファンファーレで開幕します。どこかで聞いたことのあるメロディーと躍動感あふれる曲は子どもたちをひきつけることでしょう。続いての「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」は東京交響楽団の楽器解説のためのオリジナル曲で、小さいころからなじみのあるディズニーのメロディーを使ってオーケストラの各楽器ひとつずつを、メンバーによるナレーション付きで紹介いたします。協奏曲では、オーケストラの中の一つの楽器をソリストとして取り上げて演奏する、「協奏曲」というスタイルを聞いてもらいます。ここで登場するソリストは、できるだけ地元ゆかりのあるメンバーを起用します。前半最後は音楽の授業では必ず取り上げるベートーヴェンの交響曲第5番「運命」から第一楽章を演奏して締めくくります。</p> <p>第2部は、運動会などで児童・生徒さんが聴いたことのあるであろう「トランペット吹きの休日」から始まります。その後は児童・生徒さんに参加いただくコーナーとして訪問校の希望に沿って、全体合唱、または指揮者体験等で共演をします。フィナーレはオーケストラによる「和」を感じていただくために、日本特有のリズムやメロディーがふんだんに盛り込まれた「管弦楽のためのラブソディ」で締めくくります。 アンコールでは、ジブリアニメ『天空の城ラピュタ』より「君をのせて」を演奏して終演となります。</p> | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|----|---|-------|----|---|-----|----|---|------------------|--|------|---|---|----|-----|---|---|----|-----|---|---|--|
| <p>演目選択理由</p> | <p>多くの子供たちに「はじめてのオーケストラ体験」を提供できるこの機会を最大限に生かすため、以下の3つの理由を基に演目を選択いたしました。</p> <p>①生の響きを聴かせたい 一度は耳にしたことがある音楽でも、実際に楽器が振動して出す音とスピーカーを通して聴く音との違いを存分に感じられる曲を選びました。「華やかな金管楽器の音」や「優しく繊細な響き」、「床を伝って感じる迫力」などを楽しめるように構成しています。</p> <p>②色々な楽器とその奏者を見てもらいたい 「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」では、音楽に乗せながらナレーションで楽器の説明します。その時々で音を出している楽器が良く見えるよう、管楽器は立って演奏します。協奏曲ではその楽器の特徴をより深く、また演奏するメンバーのパーソナリティも紹介し「音楽家」を身近に感じられるように工夫しています。</p> <p>③作品から作曲家の思いを感じてもらいたい ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」は、耳の聞こえなくなったベートーヴェンがその苦難を乗り越えて、どのような音楽を作り上げたのかという作品の背景を、指揮者から児童・生徒に解説します。この解説の後に演奏することで、作曲家はどのような思いで音楽を作り上げたのか、演奏を聴きながら感じられるようにしています。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</p> | <p>①指揮者体験コーナー 指揮者の役割を指揮者が解説した後に、全校生徒さんに手を動かして指揮者の動きを実習していただき、児童・生徒の代表3名に指揮棒を持ってオーケストラを指揮してもらいます。</p> <p>②みんなで歌おうのコーナー オペラの指揮経験も豊富な指揮者から、歌うために簡単な発声練習などをした後、オーケストラ伴奏で「ビリーブ」または校歌を全員で歌います。</p> <p>③吹奏楽部や器楽部の共演 各校吹奏楽部の部員にとって「素敵な思い出」にできるよう、各学校の部活状況をお伺いした上で曲目、事前指導できるようなプログラムを準備いたします。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>出演者</p> | <p>指揮：大井剛史 ナレーションおよびソリスト：東京交響楽団の楽団員 管弦楽：東京交響楽団(2管12型編成) ピッコロ×1、フルート×2、オーボエ×2、クラリネット×2、ファゴット×2、ホルン×4、トランペット×3、トロンボーン×3、チューバ×1、ティンパニ×1、打楽器×3、ハープ×1 ファースト・ヴァイオリン(コンサートマスター1名含む)×12、セカンド・ヴァイオリン×10、ヴィオラ×8、チェロ×7、コントラバス×6</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</p> | <table border="1"> <tr> <td>出演者:</td> <td>69</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>スタッフ:</td> <td>13</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>合計:</td> <td>82</td> <td>名</td> </tr> </table> | 出演者: | 69 | 名 | スタッフ: | 13 | 名 | 合計: | 82 | 名 | <p>運搬</p> | <table border="1"> <tr> <td>積載量:</td> <td>4</td> <td>t</td> <td>2t</td> </tr> <tr> <td>車長:</td> <td>8</td> <td>m</td> <td>5m</td> </tr> <tr> <td>台数:</td> <td>2</td> <td>台</td> <td></td> </tr> </table> | 積載量: | 4 | t | 2t | 車長: | 8 | m | 5m | 台数: | 2 | 台 | |
| 出演者: | 69 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| スタッフ: | 13 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計: | 82 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 積載量: | 4 | t | 2t | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車長: | 8 | m | 5m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 台数: | 2 | 台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|-----------------------|-------------------------------|----|------------|----------------------------|---------|--------|
| 本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安 | 前日仕込み | | 無 | 前日仕込み所要時間 | | 時間程度 | |
| | 到着 | 仕込み | | 上演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 |
| | 8時30分 | 8時30分～12時30分 (会場でのリハーサル含む) | | 13時30分～15時 | 15分 | 15時～16時 | 16時30分 |
| ※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。 | | | | | | | |
| 本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません) | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | | |
| | 9日 | 2日 | | | | | |
| | 11月 | 12月 | 1月 | 計 | | 11日 | |
| | ※平日の実施可能日数目安をご記載ください。 | | | | | | |
| 児童・生徒の 参加可能人数 | 本公演 | | | 共演人数目安 | 指揮者体験コーナー3人、 校歌歌唱の場合は全員 | | |
| | | | | 鑑賞人数目安 | 体育館に収容可能人数(600人程度) | | |



全景
オーケストラに必要な
スペースは
約9m×約15m



協奏曲ではオーケストラの前にソリストが立って演奏します。

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。

【公演団体名 東京交響楽団】

| 児童・生徒の 参加可能人数 | ワークショップ | 参加人数目安 | クラス単位から全校児童まで |
|--|--|--------|---------------|
| <p style="text-align: center;">ワークショップ 実施形態及び内容</p> | <p>できるだけ巡回公演当日に聴かれる児童・生徒さん全員の参加を希望します。 会場は体育館または大きな教室で行います。</p> <p>【ワークショップ指導者】 オーケストラの演奏者(弦楽器、管楽器、打楽器)計4人 ピアノ1名 司会1名</p> <p>○オーケストラで使われる楽器から、弦楽器、管楽器、打楽器を間近で見せながら、その楽器の成り立ちや特徴、演奏方法を奏者が解説をしていきます。(各楽器20分程度) ○楽器によっては少しだけ体験してもらえる場合もあります。 ○説明の後にはピアノ伴奏で小品の演奏を行います。 ○打楽器の解説では実際に学校にある楽器をお借りして演奏します。いつもの楽器がプロの演奏によりどのように変わるのかを体験してもらいます。 ○それぞれの楽器で質問コーナーを設けるなど、児童・生徒さん対話をしながら進めます。 ○弦楽器、管楽器の部分ではおもにメロディーやハーモニーを感じてもらうことを主にします。そして打楽器の部分では、リズム体験を取り入れ実際に児童・生徒さんに参加してもらいます。 ○児童・生徒さんが習い事でいちばん多くふれているであろう「ピアノ」についても希望によりコーナーに取り入れます。 ※吹奏楽部との共演を希望する学校の場合は、吹奏楽部指導をワークショップ当日に行います。</p> | | |
| <p style="text-align: center;">ワークショップの ねらい</p> | <p>ワークショップでは、本公演に向けて、オーケストラを構成する楽器の種類「弦楽器」「管楽器」「打楽器」についてそれぞれその特徴を知ってもらうこととともに、音楽の主な要素である「メロディ」「ハーモニー」「リズム」をあわせて学んでいきます。ワークショップで聴いたそれぞれの楽器がオーケストラの中でどのような役割をはたすのか、その他にはどんな楽器があるのか、本公演に向けて興味関心を持てるようにそれぞれ解説をしていきます。 また、打楽器の解説では訪問校で使われている打楽器をお借りして演奏します。いつも学校で使っている楽器をプロが演奏するとどのような音がするのか、次に自分たちで授業で使う際の「目標」となる音を体験してもらいます</p> | | |
| <p style="text-align: center;">その他ワークショップに 関する特記事項等</p> | <p>音楽の授業で取り上げている曲や、学校での音楽への取り組み(合唱に力を入れている、ボディーパーカッションなどでリズム教育に力を入れているなど)と協調して進めることができます。 それぞれ学校との調整により進めます。</p> | | |